



上島町

議会だより

No. 13

2008年9月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



(写真は7月7日(月) 於：松山市にぎたつ会館)

主な内容

- 一般質問 2～6P
- 議会の傍聴 6P
- 議会の活動 6P

6月定例議会

一般質問

6月25日に開催された第2回定例会においては、10名の議員が一般質問を行いました。質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



芸予フェリーが6月1日より運航を中止に対して行政の対応は

Q 船は、島の道路、橋でもある。住民は

益々不便不自由が増し、離島間の発展にも大いに影響がある。架橋は、生名岩城間は見通しがたっていない。その間行政はどのような対応を考えているのか。

A (上村町長)

利用者が減少し、快速船の経営を維持する為の選択です。今後も通勤通学等の足の確保に努めますが、車両は別ルートで対応して頂きたいと思います。

A (山下総務課長)

原油の高騰により、13年以降赤字が続き経営がなりたたなくなるため、役員会におき廃止を決定しました。

Q

原油の高騰で住民の暮らしにも影響があり、フェリーにも影響があると思いますが、しかし、船は道路であり橋である。他の業者、回漕店など不便になり、配達にも影響するのではないか。特に、岩城地区の影響は多いと思う。

無くなるのであれば止むを得ないというのでなく、こんな代案を考えているという詳しい案を出していただきたい。

A (上村町長)

航路を道路にとらえ、今後も離島航路補助を含め、要望活動を続けたいと思います。

原博彦議員



業務委託の結果について

Q

平成20年度じん芥収集運搬処理業務委託について、町長は結果は全て公表するのとことであつたが地区別に公表を。

A (丸山生活事業課長)

4月2日より1年間

当課に於いて執務時間中に閲覧できます。

Q

前はホームページで公表していたが今回の違いは。

A (丸山生活事業課長)

前は私の認識不足であり、町の取り決めで随時契約は、ホームページには公表しないということにしております。

Q

指名競争入札での予定価格が事前に公表されているが、目的及び評価、また平成19年度に実施された指名競争入札及び随意契約の1件が300万円以上の件数と平均落札率を尋ねる。

A (毎木副町長)

予定価格の事前公表の目的は、入札・契約事務の一層の透明性、公正性及び競争性の向上並びに不正行為の防止を図るものであります。

指名競争入札の平均落札率は実施前が98.2%、後が94.2%へと下がっており競争性の面から成果が現れておると思います。

Q

19年度の指名競争入札の該当件数17件、平均落札率は92.3%。随意契約は22件で98.4%です。

Q

随意契約では何故予定価格を公表しないのか。

A (村上産業建設課長)

他の公共団体も殆ど実施していない。動向を見ながら検討していきたいと思えます。

A (上村町長)

個人的には、予定価格の公表が果たして正しいのか未だに疑問をもっており、入札の基

Q

本は公平性、透明性、適正価格であり、不正がないことが一番肝要であるので、改めて、予定価格の公表については、十分な審議をさせていただきたいと思っております。

Q

今治伯方町木浦港と上島町を結ぶ芸予フェリー便が、原油高、輸送車両・利用者の減少により5月末日で廃止となり、上島町民にとっては計り知れない。県内から上島町への車両の移動は広島県(因島)經由となり、車両運賃、燃料費等も今までより倍以上になり利用者にとっては死活問題となる。

Q

上島町には町営の生名、魚島船舶事業会計があり、いずれの会計も赤字運営で一般会計より繰出をしている。

Q

旅客フェリー廃止に伴う今後の対応について

森本裕人議員



旅客フェリー廃止に伴う今後の対応について

Q

今治伯方町木浦港と上島町を結ぶ芸予フェリー便が、原油高、輸送車両・利用者の減少により5月末日で廃止となり、上島町民にとっては計り知れない。県内から上島町への車両の移動は広島県(因島)經由となり、車両運賃、燃料費等も今までより倍以上になり利用者にとっては死活問題となる。

新たに町営で岩城船舶事業会計を民間を含め検討して頂きたい。

A(山下総務課長)

19年度決算で赤字に対する補填額は生名630万円、魚島2,550万円となっている。

町営で岩城船舶事業会計を新設すれば多額の設備投資が必要となり、最低でも4名の船員を確保する必要があります。それに加え毎年多額の繰出金(赤字)を持ち出し、上島の財政事情が大変厳しくなり他の福祉予算等の削減が必要となることから、町営での新たな岩城船舶事業会計の新設は考えておりません。

上島町長選挙の出馬 について

Q 上島町選挙管理委員会には任期満了に伴う町長・議員選挙の日程を10月28日告示、11月2日投開票と決定し

町長は再選に向けて準備中との報道がなされた。

上島町合併後1期4

年間に於いて、町発展とまちづくりの為、多大な努力をして頂き、上島架橋の推進をはじめ消防庁舎等、各種公共事業の推進に積極的に取り組んで来られた一定の評価ができる。2期目の町政の運営に当たって、重点的施策や町発展に対する課題、考え方についてお伺いしたい。

A(上村町長)

町長選出馬については多くの町民の皆様からの要請と激励を頂いており、気力・体力・胆力とも充実しており本日を以て正式に立候補を表明させていただきます。

町長として、今までの行政運営については身を削り人の為に尽くす「仁」の精神で町民の皆様の幸福の為、全精力を傾注いたします。

町政にかける情熱は4年前と変わることなく新鮮で健全な精神を持ち続けております。

今後の町政の運営にあたっては、初心を忘れることなく、思いやりのある健康福祉の町づくり、活力あふれる産業の町づくり、心豊かな教育、文化スポーツの町づくり、地方分権にふさわしい町づくりを公約に掲げ上島町を世界に誇れるふるさとにする為、力の限りを尽くして参ります。

寺下満憲議員



専門職員は正規雇用 をせよ

Q 上島町では、5月、6月と二度保健師の臨時職員を公募しました。

私は、6月議会に一般質問通告で専門職員は正規雇用せよと提出したところ議会開催前にもかかわらず、迅速

な対応で現在保健師の正規職員の募集をしています。ここに至るまでの実態状況の答弁を求めます。

A(山下総務課長)

保健師が病気休暇を取った為、職員の復帰を見越して臨時職員の募集を行いました。が、残念ながら2回とも応募者はありませんでした。

ところが、6月にはいり、休暇中の保健師が復帰勤務が困難という理由で退職したので、早急に正規の保健師を現在募集中であります。今後の対応については、専門職は正規職員を採用していく予定にしております。

平和行政を進める予 算組みを急げ

Q 昨年の6月定例議会で宮脇議員と私が紹介議員になり、核兵器全面禁止廃絶の国際条約の締結を求める請願と非核平和自治体宣言を求める二つの請願書を議会に提出しました。

しかしながら賛成議員は8名にとどまり不採択という結果に終わりましたが、町長は私の一般質問の中で「上島町は平和行政を進めていくことは当然のことである」と考えていますと答弁をしております。その考えを予算の中で具体化して進めてください。

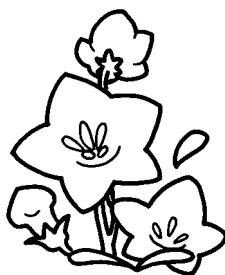
A(上村町長)

平和行政は必要があれば今後も具体的な施策についての予算化を個別に実施します。学校教育では、総合学習で平和の大切さを子供たちは学んでおります。私たち大人も過去の悲惨な事実を忘れることなく、子供たちに伝えていかなくてはならない

義務があると考えております。

A(藤川教育課長)

平和パネル等は、行事イベント等で掲示してPR啓蒙に努めてまいります。



平山和昭議員



上島町情報通信基盤 整備事業について

Q 上島町情報通信基盤整備にあたっては、町内の別荘適地などにもあらかじめ光ケーブルを敷設し、インターネット時代の一つの就

土居計彦議員

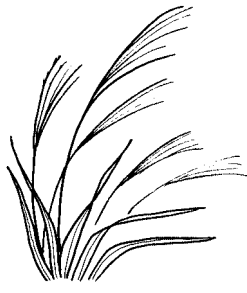


業スタイルである在宅就業を容易にし、仕事と快適な生活環境を両立させた定住促進を図ったかどうか。

A (村上企画情報課長)

情報通信基盤を活用し、町内どこでも在宅就業は可能となり、現段階ではそのような体制づくりも行っています。更にグレードの高い様々な住民サービスの向上、例えば児童見守りシステム、ICカードによる買物システム、船舶乗船システム、在宅健康管理システム、遠隔授業システム、災害・緊急時告知システムなどの施策を検討したいと考えております。

Q 19年度から実施し



取り組むか。また、放棄畑の改善については地元の意見を聞いてあげて、取り組んでいただきたい。

A (村上産業振興課長)

農業委員会を中心に、耕作放棄地の現状把握を今年度中に行う。3段階区分を行い、今

上島町が進める「鳥獣害対策」について

ている上島町農業生産被害対策費補助金制度の利用状況は？

A (村上産業振興課長)

19年度は22件で78万円でした。20年度は6月16日現在弓削島16件で62万7千円です。

Q イノシシ被害を減らすための今後の取り組みは。

A (村上産業振興課長)

箱罾を引き続き設置する。今年度新たに「くくり罾」10基を発売している。狩猟免許の取得にも補助金を出して取り組みます。

Q 耕作放棄畑や荒れた里山の改善にはどう

後の農業振興の方向を示したい。

Q 猟銃による駆除も継続的に行うと効果があるのではないかと考えております。

A (村上産業振興課長)

20年度は11月15日から3月31日までの狩猟期間中に実施したいと考えております。

宮脇政敏議員



町財政の使い方と効果について

Q 健康増進センターの改修については当初財源より委託料が大幅見直して計上されているが何故。

「潮の湯」の利用者の7割位は尾道市の住民と聞くと、町民の健康増進の意味で作ったのなら職員の配置や臨

費用効果の再検討は行いますが、国の費用をかけた物でも独立採算が取れなくても行政サービスとして住民福祉のために町が運営しなければならぬ施設があることを御理解をいただきたいと思います。

遊園地の整備について

Q 新地部落には小学生以下の児童が10名いるが以前あった遊園地の遊具は一つもない。

東の亀山遊園では、10数年前より7種類の遊具を2年に1回は部落でペンキの塗り替えと毎月各班が交替当番で清掃活動が続け長持ちさせている。

県の助成等が得られるのなら少子化の中の遊具の早期設置を望む!!

A (山本岩城総合支所長)

新地地区には鉄棒、回転遊具等があったが近くに島の神遊園地が整備され撤去されたものと思われます。

設置については地元自治会長と協議の上適切に対応したいと思います。

前田省二議員



上島町消防団の積載車について

Q 現在、火災時などに消防団の方々は、ポンプ等を積載し現場に向かう時に使用されている車両は自動車ではなく、未だに人力車である分団があると思いますが、各分団ごとに自動車を配備する計画があるのか。

A (宮川消防長)

第4分団には消防ポンプ車、第3分団には積載車2台、第1分団第3部には、軽四トラックが配備されております。

それ以外の分団は、火災時には台車から団員所有の軽四に積み替えて、現場に出勤して

いる状況でございます。今後の計画につきましては、軽四トラックを所有している団員が減少していることや、出勤時の事故対策の問題も抱えております。今後、弓削方面隊や理事者と協議いたしまして、本来に整備が必要なのか、現状のままいくのか検討したいと考えております。

佐島地区の高潮対策 について

Q 以前、上弓削地区の高潮対策に対する質問がありました。私の住んでいる佐島地区でも、住民の方から高潮対策はどうなっているのかとよくお聞きします。今後、どのような対策があるのか、お聞きいたします。

A (村上産業建設課長)

栗手地区の高潮対策につきましては、平成20年度で西方寺側の漁港物揚場前面のボック

スカルバートとヒューム管の2箇所フラックプゲートの設置のための工事費を計上しております。既に工事は発注済みで台風シーズンとなる8月中旬までに工事を完成する予定となっております。なお、後の2箇所は、非常に財政が厳しき折ですが、財政担当課と協議の上、次年度以降できる限り早い時期に設置できるように努めてまいります。

新川 健議員



子育て支援について

Q 上島町においては、子育て支援会議をはじめ各担当課において子育て支援に取り組んでいますが、現在までに

実施した内容と今後の方針をお伺いいたします。

A (村上住民課長)

現在までに実施した事業として、出産にかかる妊産婦、不妊治療にかかる交通費の助成、育児教室、町内の遊休地を活用して定住対策の一環として空き家バンク制度を計画し、空き家情報を収集し対応しています。

せとうち交流館のビデオ、本を各支所にも貸し出しを行っております。

そして島まるごと体験ツアー事業として、参加者を地元及び全国へ公募し、実施しています。

放課後児童保育等の場の提供については、来年度実施に向けて事務処理をすすめております。

保育所入所児童の保育料について同一世帯から3人以上の児童が入所している場合の3

人目からの保育料を平成20年度4月1日より無料化しております。

A (村上住民課長)

今後の方針については、引き続き子育て支援協議会を開催し、意見を幅広く収集し、実施できる事業については、積極的に取り入れたいと思います。

上島町の総括と今後の方針について

Q 三位一体による地方交付税の削減等により、上島町は厳しい財政運営の中にあります。この激動の中上島町をまとめてゆく作業は大変困難であり、引き続き強い意志と高潔な思想を持った指導者が必要ですが、上村町長の次期町長選への出馬の意向をお伺いします。

A (上村町長)

上島町長選につきましては、引き続き行政運営の任に当たらせて頂きたい、強い意志を

持つて改めて立候補の表明をいたします。

A (村上住民課長)

上島町が誕生して現在までの総括として、皆様に心配やご迷惑をかけながらも、励ましの声を頂き、新たな家族を乗せた新造船の新人船長として、舵をとり続け、美しい町に寄港したような気がして

おります。

しかし、目的の港はまだ先にあります。今後も帆船が進むための順風と暖かい風を送って頂き、上島町をより良き町にするための強力な推進力になって頂きますよう、御指導と御協力をお願い申し上げます。

松原 彌一 議員



フェリー便廃止に伴う町内航路便の見直しについて

Q 6月から民間フェリー便の廃止により、町民の生活に大きな影響を与えている。町内航路便の見直し、今後の改善策をお伺いしたい。

A (山下総務課長)

フェリー便の廃止に伴う問題点として、通勤通学の船便時刻の不便さなどが考えられ、その改善策を現在、会社側に強く要望しています。

過疎化・少子高齢化等により、利用者が減少していることや原油価格の高騰により経営が厳しいと財政的な支援の要望があり、町としては経営の合理化や運賃の適正化等を提案していましたが、なお多額の赤字になることから役員会で廃止が正式決定しました。

フェリー便の廃止に伴う問題点として、通勤通学の船便時刻の不便さなどが考えられ、その改善策を現在、会社側に強く要望しています。

Q 更に次の2点を問う。

①岩城橋が完成するまでの間、町営便または民間委託便が考えられないか。

②職員の通勤が増えているが今回のフェリー便廃止後随分と不便を強いられている、勤務時間を合理的に調整できないか。

A(山下総務課長)

①町民委託すること

にしても町から委託業者に対し毎年多額の補助金の支出が見込まれることから、適切でないと判断しています。

②時代に即したフレックスタイムの導入など視野に入れて今後検討していきたいと思いません。

農林水産業の振興で

地域活性化を

Q 県漁連は原油高騰の対策として、「漁業の一斉休業に参加する」「県や国へ支援を要請

する」等を発表した。高い油の関係で操業を取りやめた漁業者もあり本場に厳しい状況である。

豊かで住みよい上島町の発展のためには更に水産の町として発展させていきたい。今後も関係者と協議の場を持ち、何とかして水産業振興を進めて欲しい。水産業の施策について考え方をお伺いしたい。

A(上村町長)

水産業施策は上島町にとって重要な振興策に位置づけています。

今後補助制度や交付金制度を活用しながら振興策に取り組み考えてあります。そのために情報を収集し、漁業関係者と協議を行い、本音の議論を行う中でお互いに譲り合い協力しあわなければならぬと考えています。

議員研修報告

7月7日に松山市で開催された「愛媛県町村議会議長会第1回議員研修会」に13名の議員が出席しました。

当日、2名の講師による講演がありました。

《講演》

演題

議員の使命と役割

住民の期待と議員の役割

講師

愛媛県市町振興課長 北村 朋生先生

《講演》

演題

地方分権時代の『自治体議会』の機能と

講師

松山大学法学部長

妹尾 克敏先生



議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

議会の活動

(前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
6	14	関西岩城会総会 (大阪・副議長)	7	7	第1回町議会議員研修会 (松山・13名)
6	19	第5回全員協議会 (全員)	7	8	弓削地区緑が丘B棟安全祈願祭 (12名)
6	25	第2回定例町議会 (全員)	7	17	北京オリンピックやり投げ 村上幸史氏壮行会 (11名)